

まちの話題



奨励金交付式



3月13日、伊佐市役所にて大学進学奨励金の交付式が行われました。

出席した生徒たちには市長から通知が手渡され、生徒を代表して時田菜美姫さんが「進学でお世話になった方々への恩返しになるような大学生活を送りたい」と大学進学への思いを語りました。

この奨励金は大口高校緊急支援策として平成26年度から始まり、今年度は9人が対象の大学に合格してそれぞれ30万円を受給しました。

400年の歴史を肌で感じる



平成30年10月28日、市制10周年を記念した東川隆太郎さんの講演会が旧有村郷土宅で開かれました。昔の伊佐郡に関するお話のほか、大河ドラマ「西郷どん」の構成に携わっていた関係で「西郷さんはなぜ大口に来なかったのか」を明治10年の資料に基づき面白く解説されました。

講演後は立派な茅葺屋根の屋敷の中を見て回ったり、庭で大口明光学園茶道部の野点を楽しむなど、400年の歴史と秋の気配を感じられた1日でした。

高校総体・国体に向けて アスリート食を考案



昨年11月から、市内旅館等の代表者や食・スポーツ関係者を対象に「アスリート食講座」が計4回開かれました。これは高校総体やかごしま国体でアスリートに適した食でもてなし、その後もスポーツ合宿の誘致などにつなげるための取り組みです。

4回目となる2月15日には、講師の田畑綾美先生(株)KAGO食スポーツスタッフ)がチンジャオロースやスパニッシュオムレツなど栄養バランスを考えた献立の料理を実演。受講者らも、考案した献立を実際に作って試食会を開きました。田畑先生は、「アスリート食が地域をあげてのまちづくりにつながれば」と話されました。

ニジマス釣り大会



2月17日、曾木小学校プールにて、ニジマス釣り大会が開催されました。

手作りの竹竿で釣り糸を投げ込み、育ててきたニジマスを児童・校区の人たちが一緒に釣りました。

プールの周りも場所によって、釣果はさまざま。中には入れ食い状態の人も見られ、バケツいっぱいになるほど釣り上げていました。

大口酒造が消防組合に ドローン寄贈



3月12日、大口酒造(株)が設立50周年を記念して、伊佐湧水消防組合にドローン(無人航空機)を寄贈されました。

このドローンは、最高時速72km、最大31分飛行できます。今後、捜索や火災などでの活躍が期待されます。

贈呈式にて、大口酒造(株)の代表取締役社長・向原英作さんは「日頃の恩返しができればと思い寄贈しました。これから大変な時代になると思うが、皆さまの力は大きな支えになる」とあいさつされました。

未来を担う 子どもたちとともに



2月24日、市制10周年を記念して「被爆ピアノ平和コンサート」が開かれ、被爆2世の矢川光則さんが講演されました。矢川さんは、原子爆弾投下の惨禍の中で残ったピアノを調律し、各地でコンサートを行っています。

「ミサコのピアノ」と呼ばれる被爆ピアノは、73年前に広島県の爆心地からわずか1.8kmのミサコさんの家にあったもので、ガラスの破片がささった傷あとが当時のすさまじさを物語ります。

市内小学生の演奏や中・高生の朗読、水俣市からも平和の歌声を届けるなど、過去の戦争の事実と「あの日を二度と繰り返さない」平和について考える時間となりました。

幸せ運ぶ福かざり



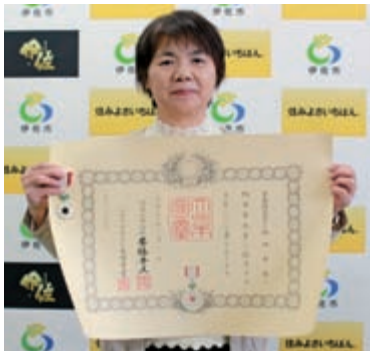
3月1日～10日、伊佐市内各地で伊佐市ひなまつり「福かざり」のイベントが行われました。商店街や校区コミュニティ協議会などに飾られた手作りの福かざりを見に、市内外から多くの来場者でにぎわいました。

今年で12年目となる針持ニコニコ手作りひなまつりでは、亥年にちなんでイノシシのひな人形がお目見え。1年目のねずみから始まり、ついに干支を一巡しました。

作り方を指導された吉永すず代さんは「長いようで短い12年だった。毎年見に来てくださる方々とお話も楽しみの一つ」と笑顔で話されました。

おめでとうございます

高齢者叙勲 旭日単光章
(地方自治功労)



西田末雄さん（田代）
※写真は代理で受け取ら
れた娘の田島さん

日本ゲートボール連合
審判員功労賞



伊佐市ゲートボール協会会長
永田忠さん（比良）

始良・伊佐地区教育論文・
実践記録 緑の教育賞



〈写真左から〉
伊佐市立大口東小学校
伊佐市立羽月西小学校
伊佐市立大口小学校



明治維新 150 周年「未来維新博」 テーマ研究部門 優秀賞

「曾木の滝と明治維新」と題した伊佐地方の
川内川開発による殖産興業政策についての研究
が評価され、受賞されました。

大口高校 〈写真左から〉

前原亜弥香さん、黒木千春さん、瓦渚沙さん、
山下紗矢さん

伊佐市民親睦公式ワナゲ大会



2月17日、大口ふれあいセンターで第5
回伊佐市民親睦公式ワナゲ大会が行われまし
た。市内から26チーム130人（小学1年
生～94歳）が参加し、仲間の応援をうけな
がら一投一投真剣に投げていました。

パーフェクト達成者は15人。試合の様子
や結果等は、日本ワナゲ協会ホームページを
ご覧ください。

卒業の思い出にそば打ち体験



3月7日、大口東小学校の6年生がそば打
ちを体験しました。

この取組みは卒業生の北渡瀬敏三さん（そ
ば処 北乃屋経営）が「卒業する6年生に何
か心に残る体験をしてほしい」との思いで始
まり、今年で4回目となります。児童たちは
北渡瀬さんのお手本をよく見て、丁寧にそば
を打ち、みんな笑顔で食べていました。